

# 感染症情報 7月31日～8月6日

府下小児科195医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	585例(堺市	41例)
②咽頭結膜熱	464例(堺市	39例)
③溶連菌感染症	408例(堺市	46例)
④ヘルパンギーナ	314例(堺市	34例)
⑤RSウイルス感染症	228例(堺市	19例)

府下299医療機関(堺市28)から

**インフルエンザ** 253例(堺市 24例)

前週比1.5%増の2,206件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比1%増、堺市で前週51例→今回41例であった。咽頭結膜熱が府下で42%増、堺市で前回29例→今回39例であった。大阪市南部、泉州、大阪市西部、大阪市東部の4ブロックで警報レベル基準値3を超えている。溶連菌感染症が府下が3%減、堺市で前週36例→今回46例。ヘルパンギーナは府下で29%減、堺市で49例→34例であった。RSウイルス感染症が府下で2%減、堺市で14例→19例であった。

インフルエンザが府下で前週275例→253例で8%減、堺市で前週30例→今回24例であった。定点当たり大阪府は0.92→0.85、堺市で1.03→0.86(1未満に戻った)であった。

府下299医療機関(堺市28)から

**新型コロナウイルス感染症** 4,093例(堺市 534例)  
大阪府定点 13.69 堺市定点 19.07

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
161	403	344	616	412	359	407	467	303	325	296	4093

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週4,399例→今回4,093例で7%減、定点当たり14.66→13.69に、堺市は前週480例→今回534例で11%増、定点当たり16.55→19.07であった。大阪府のブロック別の定点当たりでは、堺市ブロックが再びワーストになっている。

麻疹や風疹の報告はなかった。